

共同集荷・共同配送による物流コストの削減を実現

協同組合つばめ物流センター

運送会社と協調した効率的な共同集荷・共同配送システムの構築により「運送運賃の軽減」「作業スペースの削減」「出荷作業の効率化」を実現

所在地：〒959-1277 燕市物流センター1-15 電話番号：0256-63-7660

FAX番号：0256-63-7679 設立：昭和48年9月 出資金164,684千円

組合員数：32人 組織形態：卸商業団地組合 地区：燕市

主な事業：家具・建具・じゅう器等卸売業

組合専従者： URL：<http://www.tsubame.or.jp/>

背景と目的

多頻度小口配送が進展した結果、組合員の配送効率が悪化し、これが大きなコストアップの要因となり企業経営を圧迫していたため、共同事業によって物流コストの軽減を図る必要があったことから、運送会社と協調した効率的な共同集荷・共同配送システムを構築することにより、運送会社への委託運賃の軽減、作業時間の短縮、作業スペースの削減、出荷作業の効率化による「物流コストの軽減」と「CO2排出量の削減」を目指すこととした。

事業・活動の内容

共同集荷については、荷主組合員は段ボール箱で梱包された商品を組合が開発した荷札作成システムを活用して出荷作業を行い、その荷物を荷受幹事運送会社は巡回又はピストン集荷の方法で、共同集荷して共同配送センターへ運び込む。配送センターで行き先別に自動仕分けされた後、地元の運送会社2社と県外の運送会社4社が互いの配送を補い合うクロスドッキング方式によって、全国ネットワークで配送する。

また共同配送については、大都市を除き物量が少なく積載効率が悪くなり、運送会社のコスト増となってしまうことから、今後、地元幹事運送会社（中越運送）を中心として採算に合う体制の構築を検討している。

成果

主な成果としては、運賃コストが約3.3%削減された、共用荷札・送り状の作成により出荷作業が軽減し、出荷作業時間が平均して約1時間早くなった、組合員が運送業者毎に仕分けしていた保管スペースが削減されたことにより3社合計で約90坪削減できたことが挙げられる。これらの成果により、組合員の物流コストは軽減され、組合

としても安定的な事業収入が得られることになり、今後組合の主要事業として成長していくと思われる。